

先日、右山北3区の竹田区長さんが来校し「この前の日曜日、地区清掃があり年々たくさんの児童が参加してくれるようになったのでお礼を言ってほしい。とても嬉しかった。」（参加数20人）と、いう話がありました。また、不破上町の地区清掃にもほとんどの児童が参加していたという話も聞いています。多分、他の地区でも地区清掃に参加している児童がいると思いますが、社会のために役に立とうと思って行動する実践力がついてきていることを嬉しく思います。

2

IV 集団や社会とのかかわり
社会の役に立とう

高知の道徳 P 54

だれか困っている人がいたら
 もし助けを求めている人がいたら
 なんとかしよう、なんとかしたいと思っ
 人間の気持ち。

わたしたちの力はわずかかもしれないが、
 きっとだれかの役に立てるはず。

だから考えてみよう。
 わたしたちにできることを。

児童会主催：毎年赤い羽根共同募金実施。

児童会主催：プルタブを集め、車いすに交換し施設に贈る活動 H25（愛の家）・H27（夢の丘）へ贈呈。

社会への奉仕やボランティア活動
 すべての人の幸福のために、社会をよりよくするために
 役に立つことを。



ちょっとしたボランティア。
 社会に役立つことを通して
 自分も成長できる。

クリーン作戦：児童会活動で毎月一回、児童会執行部を中心に日を決めて登校時にチリを拾って登校する活動を続けています。子ども達の話では、最近、チリも段々と少なくなっているというのですが、それでも活動の度にゴミ袋で半分ぐらい集まりません。校区の清掃活動を行うことでボランティア精神が育まれています。

校長：南小では、社会に役立ちたい活動を幾つかしています。例えば鼓笛隊は、毎年、四万十市地域安全パレード（1・2年含）や四万十市人権啓発パレードに参加しています。中村駅でのプラットホームコンサートでは駅を利用する人やたくさんの市民の方に元気を与えています。そして、今年は、地域にある高齢者施設に行って演奏をする活動も計画中です。5年生は毎年、クリスマスの頃、地域にある高齢者施設を訪れて歌や劇など、4年生は、敬老の日に地区の公民館に出かけ、歌や劇などをしておじいさんやおばあさんに楽しんでもらっています。子ども達は、このように地域に出かけ様々な体験や経験を通しながら、やがて社会に役立ちたいと思う心が育ってくるのではないかと考えます。